

質問

町内の限界集落の現状は

政策企画課長

限界集落は38自治会ある



糸原 文昭 議員

質問 令和22年の奥出雲町内の人口は、7270人と推計されている。人口の減少や高齢化がますます進んでいくことから、集落の在り方が問われている。集落の現状は。

政策企画課長 町内には118自治会あり、住民の半数が65歳以上となる限界集



上空からの自治会や集落の様子（馬木地区）

落は、現在38自治会がある。令和元年には115自治会中、限界集落は22自治会であったことから、16自治会増えた。

質問 今回の調査で10年以内に無人となる可能性のある集落は488あり、いずれ無人となる集落は3324とある。今後の集落の見通しは。

町長 将来にわたって生活機能や地域活動の維持をしていくことが重要である。人口減少、高齢化に対応した組織づくりやその運営に対し支援する。

質問 過疎地域での無人化が危惧される集落で、空き家の3分の2が管理されていないことが明らかになった。空き家対策の見解は。

町長 令和3年～4年の調査で、空き家は542件あり、管理されていない空き家が4割ある。空き家の増加を抑制するには、空き家になる前に家族と家屋等を将来どうするのか考えていくことが重要である。

林野火災の対応は

質問 2月26日発生した岩手県大船渡市の林野火災は40日間燃え続け、平成以降国内で最大規模の林野火災となった。町や消防団の初動対応は。

町長 大船渡市での大規模火災が本町で発生した場合、消防団の所有する

質問 大規模な災害や林野火災での本町の備えは。

町長 消防団の装備は、安全靴、雨衣や救命胴衣を整備した。先般は小型ポンプ付軽積載車3台を配備した。引き続き装備品の充実を図っていく。



岩手県大船渡市林野火災の状況